

# 静岡県教育委員会

## 会議録

平成 24 年度 第 2 回定例  
4 月 16 日（月）

静岡県教育委員会委員長 金子容子は、

平成 24 年 4 月 16 日に教育委員会第 2 回定例会を招集した。

- |   |           |                      |              |           |
|---|-----------|----------------------|--------------|-----------|
| 1 | 開催日時      | 平成 24 年 4 月 16 日 (月) | 開会           | 13 時      |
|   |           |                      | 閉会           | 14 時 30 分 |
| 2 | 会 場       | 教育委員会議室              |              |           |
| 3 | 出席者       | 委 員 長                | 金 子 容 子      |           |
|   |           | 委員長職務代理者             | 高 橋 尚 子      |           |
|   |           | 委 員                  | 加 藤 文 夫      |           |
|   |           | 委 員                  | 溝 口 紀 子      |           |
|   |           | 委 員                  | 齊 藤 行 雄      |           |
|   |           | 委 員 (教育長)            | 安 倍 徹        |           |
|   | 事務局 (説明員) | 寺 田 好 弥              | 教育次長         |           |
|   |           | 杉 本 寿 久              | 事務局参事兼教育総務課長 |           |
|   |           | 田 中 潤                | 事務局参事兼学校教育課長 |           |
|   |           | 鈴 木 啓 之              | 事務局参事兼学校人事課長 |           |
|   |           | 吉 澤 勝 治              | 教育政策課長       |           |
|   |           | 奈良間 一 博              | 情報化推進室長      |           |
|   |           | 石 川 理 恵 子            | 人権教育推進室長     |           |
|   |           | 原 田 揚 一              | 財務課長         |           |
|   |           | 西 川 誠                | 福利課長         |           |
|   |           | 輿 水 まゆみ              | 小中学校教育室長     |           |
|   |           | 岩 城 明                | 高校教育室長       |           |
|   |           | 渡 邊 浩 喜              | 特別支援教育室長     |           |
|   |           | 塩 崎 克 幸              | 高校再編整備室長     |           |
|   |           | 活 洲 みな子              | 社会教育課長       |           |
|   |           | 柳 田 恭 一              | 文化財保護課長      |           |
|   |           | 松 田 好 道              | スポーツ振興課長     |           |
|   |           | 中 村 孝                | 静岡教育事務所長     |           |
|   |           | 橋 本 勝                | 静岡西教育事務所長    |           |
|   |           | 谷 野 純 夫              | 中央図書館長       |           |
|   |           | 三ッ谷 三 善              | 総合教育センター所長   |           |
|   |           | 渡 邊 聡                | 学校人事課人事監     |           |
|   |           | 寺 島 明 彦              | 教育総務課主席管理主事  |           |

#### 4 その他

(1) 第 6 号議案～第 7 号議案は、原案どおり可決された。

(2) 報告事項1～4は、及び5月の主要行事予定は了承された。

**【開 会】**

委 員 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。  
今回の会議録の署名は、高橋委員、斉藤委員にお願いする。

**【非公開の決議】**

委 員 長： 議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取扱について諮る。  
第6号・第7号議案及び報告事項4は人事案件、報告事項3は調整中の案件であるため、非公開としたいと思うが、異議はないか。

全 委 員： 異議なし。

委 員 長： それでは、第6号・第7号議案及び報告事項3・4を非公開とする。

**【会議の非公開】**

委 員 長： ここで会議を非公開とする。

**<非>第7号議案 教職員の懲戒処分**

**<非>第6号議案 静岡県就学指導委員会委員の任命及び委嘱**

**<非>報告事項3 重大な生徒指導事案報告（平成24年3月）**

**<非>報告事項4 平成23年度教職員人事評価結果の概要**

**【非公開の解除】**

委 員 長： ここで非公開を解除する。

**報告事項1 平成24年度発達障害等の生徒支援調査研究事業の概要**

委 員 長： 報告事項1頁「報告事項1 平成24年度発達障害等の生徒支援調査研究事業の概要」について、塩崎高校再編整備室長より説明願う。

高校再編整備室長： <報告事項についての説明>

委 員 長： 質疑等はあるか。

溝 口 委 員： 高校では発達障害に対する理解が低いと聞いており、このようなモデル事業は効果があると報告を受けている。発達障害等の生徒は保護者の理解が得られなくて診断が受けられないケースもあると聞く。この事業は高校生を対象に実施されていることと思うが、教育相談の対象を義務教育まで広げることにはできないのか。

高校再編整備室長： どのように呼びかけるかは難しいが、教育相談のリーフレットは県内すべての中学校・高校に配布している。学校を通して申し込まなくても保護者が直接、県教育委員会に申し込むことができる。発達障害等のため、進路や生活に困っている方が、医者や臨床心理士に相談できるよ

うになっている。基本的にこの事業は高校段階で発達障害等のある生徒をどう支援していくかというものなので、高校生とこれから高校に入学する中学生、その保護者を対象としている。案内を出しても周知されないという問題があるので、公民館等の公共の施設にも掲示してもらうようをお願いをしているところである。

溝口委員： 昨年、教育相談を受けた件数はどのぐらいか。

高校再編整備室長： 延べ 144 件である。中学校・高校に案内をしたのだが、稼働率は 22 パーセントであった。利用者は高校生が 12 件、中学生が 11 件で合計 23 件であった。高校生の内訳は、生徒のみが 2 件、保護者のみが 8 件、生徒と保護者が一緒に来たのが 2 件である。中学生については、生徒のみで相談に来たケースはなく、保護者のみが 6 件、生徒と保護者が一緒に来たのが 5 件である。コミュニケーションスキル講座を実施していた 10 月から 2 月の期間は、土曜日に教育相談の窓口を開設していたので、もっと相談を受けることはできたのだが、実際の利用率は低かった。保護者の中にはわが子に関係ないと思っている方がいる。また、学校側から保護者に対して相談に行くことを促すような声かけは難しい。学校側から十分な連絡がされていないケースもあり、今回は昨年度の反省も踏まえて、公共の施設にも案内を送らせていただいた。

加藤委員： 治療方法がはっきりしていない病気を公表するのは嫌なものだ。発達障害も同じことが言える。発達障害が明らかになっても治療方法が無かったり、明らかにすることで差別されたりすれば公表する人はいない。発達障害が早く見つかることによってメリットがなければ誰も相談しない。したがって、発達障害の処方箋があることを案内の中に入れてほしい。

委員長： 室長の説明の中で「個別」というキーワードが語られていたと思うが、加藤委員も言われたような個別の処方箋こそが大切である。

溝口委員： 特別支援学校の生徒は対象に含まれないのか。

高校再編整備室長： 相談があれば考えたい。本来はもう少し幼少期から対応しなければならないので、市町の教育相談を受けてもらいたい。高校生になって初めて教育相談を受けるというのは対応が難しいだろう。市には発達障害者支援センターが設置されている。このモデル事業は相談を行っている場所が旧周智高校跡地であり、県内どこからでも相談に来られるような立地条件ではない。モデル事業は、生徒にどのような支援をしていったらよいか、研究の一環として行っているものであるが、相談があれば、なるべく受けるように対応したい。

溝口委員： 去年も周智高校跡地でおこなったのか。

高校再編整備室長： はい。

溝口委員： 周智高校跡地は遠い。他の高校での展開をお願いしたい。

高校再編整備室長： モデル事業に関しては、周智高校跡地で行った成果が報告されている。例えば、生徒が普段生活している環境と違い、周智まで通うことも新鮮で良かったという意見をいただいている。ただし、教育相談はそこ

に相談に行くだけなので、周智高校跡地は不便であろう。モデル事業に関しては、周智高校跡地という環境にも意味があると思っている。

- 委員 長： その他、質疑等はあるか。  
全委員 員： （特になし）  
委員 長： 報告事項1を了承した。

## **報告事項2 平成23年度全国高等学校選抜等大会結果**

- 委員 長： 報告事項4頁「報告事項2 平成23年度全国高等学校選抜等大会結果」について、松田スポーツ振興課長より説明願う。  
スポーツ振興課長： <報告事項についての説明>  
溝口委員 員： 優勝者がすべて女性であり、静岡の女は強いと感じた。この調子でオリンピックも含めて良い結果が得られると嬉しい。昨年度、一昨年度と比較して、なぜ、こんなに良い結果が得られたのか。  
スポーツ振興課長： 今回は女子の活躍が目立った。全国で活躍するスーパーな生徒が出てきた結果だといえる。  
委員 長： その他、質疑等はあるか。  
全委員 員： （特になし）  
委員 長： 報告事項2を了承した。

## **報告事項 平成24年5月の主要行事予定**

- 委員 長： 報告事項5頁「報告事項 平成24年5月の主要行事予定」について、杉本教育総務課長より説明願う。  
教育総務課長： <報告事項についての説明>  
委員 長： 質疑等はあるか。  
全委員 員： （特になし）  
委員 長： 平成24年5月の主要行事予定を了承した。

### **【閉会】**

- 委員 長： 以上で、本定例会の議事はすべて終了した。  
これをもって、平成24年度第2回教育委員会定例会を閉会とする。